

そうそう、一緒に楽しいの、やりとりの方法なんかは、何でもいいんだよ!!



佐久間公園で、葉っぱを使ったおままごとが始まっていました。気付くと、りのちゃんとなぎさちゃんふたりで長いこと夢中に遊んでいました。関わり合ったり真似っこしたりするうち、ひとりで遊ぶのではなく、お友だち同士でなんとなく同じイメージの中で遊ぶ姿も増えています。

嬉しそうに笑顔でやりとりする姿も。どんなこと話しているのでしょう…子どもたちの世界です^^



言葉、ジェスチャー、リズム…心を通わせる大切なアイテムたち。

お散歩の道中、突然じゃんけんが始まりました。(笑)わかちゃんが「じゃんけんぽん!」と言うと、りなちゃんもそれに応えます。言葉でのやりとりが増えると、関わり幅もまた一段と広がっていきます。



おやつ後のお片付けの際、大人がテーブルを拭いているのを見ていたのか、シートを持って徐ろに拭き始めたりなちゃん。しようたくんもそれを見て「おそーじ!」とお手伝い。そして食べ終わったはるきくんも参加して…みんなでお掃除のお手伝いをしてくれた場面です。

「それやりたい」「あ、それね、いいよ」あうんの呼吸でゴールをめざして一致固まる。そんなチームプレー、すてきなあ…大人もマネしたい!!



りなちゃんが拭こうとしているのを見て、まだお食事中だったはるきくんもお皿をあげて、協力してくれていた姿がステキだなと印象的でした。そしてみんなで揃ってお掃除しているなんとも嬉しそうな顔も…^^ みんなで一緒だともっともっと楽しい! そんな気持ちが伝わってきますね。



散歩帰りのテラスで、靴箱の上に寝そべっているお友だちの姿を見ていたりなちゃん。「ねんね(してる)」と興味深そうに眺めていましたが、やがて場所が空くと…すかさず同じように寝ころびにいきます。「お友だちと同じことをやってみる」そんな姿がさまざまなかで見られ、その楽しさや面白さを一緒に味わおうとしているようです。



こういうのを見ると子どもっていいはあ、子どもに戻りたいなあと思ってしまいます…

4期まとめ

屋上で、コンビカーの順番待ちをしたり、そこで交代したりして楽しんでいた場面が印象的です。4期にもなると、こうしてちょっとしたルールやきまりのなかで遊べる姿が、ぐんぐんさんでも見られちゃうんだ!と驚きました。これも、にこにこ組のお友だちの姿があったからこそなのかもしれませんが、いろんな友だち関係や環境が、それぞれの子の育ちを支えているのだということが実感できますね。

